

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 4 月 3 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900341		
法人名	社会福祉法人 三誓会		
事業所名	あやめが丘グループホーム		
所在地	広島県三原市沼田西町惣定66番308 (電話) 0848-86-1211		
自己評価作成日	令和4年11月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490900341-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年3月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

基本理念に掲げた、「出会い」・「ふれあい」・「助け合い」の気持ちを大切にしたケアに取り組んでいます。家庭的な環境の中で無理なくゆったりとした時間が過ごせ、入居者様と職員の間関係がご家族様に少しでも近づき、笑いの絶えない生活が送れるよう支援しています。又、ボランティア・こども園との交流を深め、行事などに参加して下さり、特にこども園とは同じ法人なので、お互いが行き来しながら、ふれあい交流の場を設けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

開設時に策定した事業所の理念をもとに利用者だけでなく職員間にも統一した考え方で管理者を中心にケアを行っている。利用者一人ひとりの生活背景や趣味趣向など特徴を把握し、職員間で意見を出し合いながら、その方が楽しめることや役割、活躍できるよう支援している。職員は接遇に関して重点的に取り組んでおり、言葉遣いなど注意し合ったり、ミーティングで検討したりと意識づけできるよう努めている。
隣接にはこども園があり、時折園児の声が聞こえ、外に園児を見かけると挨拶したり、見守り・交流できるよう取り組んでいる。
また沼田西町の地域福祉ネットワーク協議の会合に参加し、福祉目線で見守り活動を行っており、地域住民の一員としてかかわりを持っていこうと取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	目立つ所に掲示し、毎月のミーティングで共有している。	開設時に作成した事業所独自の理念を継続している。理念をもとに、具体的な内容の年間目標を職員で話し合い策定し、事業所内に掲示している。実践が出来ない時は職員間でお互い話し合う機会を設けて日々実践できるよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常ではないが、地域の方が作ったパンや野菜を販売している。	地域の方と一緒にパン教室を行ったり、野菜の収穫後の鞘を切って袋詰めをしたりなどできることを行い、事業所玄関前で地域の方に販売している。また沼田西町のネットワーク会議に参加し、連合会長や地域の方と見守り活動を行い、何かあれば連絡や情報共有ができています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	沼田西町の地域福祉ネットワーク会議に参加させて貰っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	推進会議議事録を回覧している。	感染状況に応じて開催している。民生委員、地域包括支援センター、家族代表者が参加している。不参加者には会議資料と議事録を渡し、事業所職員にも閲覧できるようにして情報共有を図っている。現在は幅広い意見がもらえるよう近隣の住宅団地の方や隣接のこども園園長にも参加を打診している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	推進会議に出席していただいている。	介護保険関連や事故報告など状況に応じて管理者が市役所の担当窓口に行き、相談や報告することで情報共有している。また市町が開催する研修会にも定期的に参加している。社会福祉協議会とも見守り活動の支援で連携している。	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	定期的に勉強会を行っている。	年2回書類による研修会を行っている。管理者が得た情報を常に職員にも共有できるように取り組んでいる。言葉かけにも配慮や工夫するなど検討を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	定期的に勉強会を行っている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	定期的に勉強会を行っている。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約の締結時は、ご家族と十分に話をし説明している。改定時は書面で連絡している。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	ご意見箱を設置している。	家族には新しい取り組みなどあれば電話や来所時に意向を確認している。毎月広報誌と一緒に担当職員が良い状況・悪い状況全てを家族に報告するようにし、折り返し問い合わせがあれば詳細を説明している。また家族からの意見は業務日誌、連絡ノート、カルテを使用し職員間で情報共有している。	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度ミーティングを行っている。	ミーティングでは利用者に関する変化や気づきなどの意見が多い。管理者は日々現場での職務に常務し、職員の様子を気にかけており、職員からの要望や意見を受け止め、運営に活かしている。例えば、行事の際の業務内容の変更や備品の購入、利用者個別の支援について等の意見を反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者によるヒヤリングを通し、職員から個々に話を聞き、可能な限り環境・条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修や勉強会を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の町内会やボランティアなどを通じて、交流や情報交換を行い、同業者と交流する機会を作って頂く様に相談してもらいながら各方面の情報交換を行うように努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人の話を傾聴し、スタッフ間で情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面談を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	訪問看護サービスを利用している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来る事はお手伝いしていただき、一緒に作業したり、レクリエーションを行ったりしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族と連絡をとりながら、本人の意見や希望を傾聴し、尊重している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍で面会や外出は難しいが、電話や手紙等で対応している。	手紙や電話、タブレットでのオンライン面会がいつでもできるような環境を整えている。お孫さんからのバレンタインチョコが届いたらお礼の返信をしたり、昨年はレクリエーションの一環として年賀状を準備し、一言でも利用者自身が書いてもらうことで年賀状のやり取りができるよう取り組みを行っている。	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様の話を傾聴し、レクリエーション等を行い、関わりあえるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご家族より相談があれば、対応している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の話を傾聴し、ミーティングなどで話し合い、検討し対応している。	普段の利用者同士の会話やケアで関わって気づいたことを日々の朝礼や連絡ノートを活用し、情報共有している。意向をあまり話さない方に対しては散歩時や入浴時、居室滞在時などで利用者と一緒にマンツーマンで過ごす時に聴くようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族やご本人の話を傾聴し、把握に努め実施している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の状態を観察し、変化があれば、記録に残し、申し送り、スタッフ間で情報を共有している。月に1度ミーティングを行っている。		

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ミーティング等で話し合いを行っている。</p>	<p>日々、2～3時間おきに個々の利用者の状況を記録しケアの質が拡大できるよう取り組んでいる。担当職員が6か月ごとにモニタリングを行い、計画作成担当者と話し合っ作成している。モニタリング時は本人・家族の意向以外にもかかりつけ医や訪問看護などの他職種の意見を伺いながら作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>気づきや変化があれば、記録に残し、申し送りで報告し、情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>随時、ご家族やご本人よりサービスの変更や追加等あれば、そのニーズに対応し、支援が行えるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ご本人の意思を尊重し、出来る事は積極的に行ってもらい、難しいところは見守り・支援を行うことで職員はご本人が、心身の力を発揮出来る様支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>基本かかりつけ医はいらっしゃるが、本人及びご家族の希望があれば、希望に沿う形をとっている。受診も同様。</p>	<p>以前のかかりつけ医の選択も可能であるが専門外の病院以外は協力病院に変更している。ユニットごとに訪問診療は隔週であるが2ユニットあるので毎週あり、必要があれば診察日以外でも相談対応できる。また隔日で訪問看護が来て、日々の医療・健康上の相談や協力病院との連携も取れている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃気になった事があると、訪問看護へ報告、連絡している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日々の変化を記録に残すよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族の意向に沿うよう、主治医や訪問看護、管理者の話し合いにより支援出来るようにしている。	利用開始時に看取りについて説明し、同意を書面にて交わしている。本人・家族の希望があれば看取りは可能だが最近では家族に事業所の環境体制を説明して協議し、入院する対応となっている。重度化した場合は都度家族に意向を確認しかかりつけ医の医師と相談し、入院先を含め検討している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	心肺蘇生法やAED操作を消防隊の方に来ていただき、研修を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防訓練を行い、火災時の避難方法等、教えていただきました。	ハザードマップを活用し、災害の避難場所として敷地内駐車場の指示と避難経路を職員間で把握している。年2回消防訓練を行っている。訓練の都度、管理者と消防隊で訓練内容や設定の検討を行い、令和4年7月には全職員が救命救急の講習を受けている。また新しい職員には消火訓練を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	思いやりをもち、言葉遣いや言い方に気を付けながら接している。	利用者の利用開始時には職員は生活歴を確認し、言葉遣いや声のトーンなど気をつけながらケアを行っている。日々の業務で気づきがあれば注意し合っている。利用者のカルテのファイルは施錠できる棚に保管し、第3者が見ても分かり難いよう利用者の名前をローマ字で表示している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	見守りが出来る範囲内で希望に沿うよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床時等本人のペースに合わせて動けるよう声掛けをしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	洗面時、櫛を使ってのみだしなみ、日々の服選び、定期的な散髪ができるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事前のテーブル拭き、食後の食器拭き等一緒に行っている。おやつ準備と一緒に簡単な盛り付けも行っている。	目で見て楽しめるよう多種の陶器の皿や器を使用している。利用者にはできるだけ職員と一緒に会話を楽しみながら盛り付けやテーブル拭きをしてもらっている。日々のこと以外でも誕生日会のケーキにホイップをしてもらったり、盛り付けや行事ごとの準備も利用者に参加してもらっている。	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一 日を通じて確保できるよう，一人ひと りの状態や力，習慣に応じた支援をし ている。</p>	本人に合わせて食事や水分量を確保して いる。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう， 毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後の口腔ケアの実施。必要時、歯科 往診の依頼。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし， 一人ひとりの力や排泄のパターン，習 慣を活かして，トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。</p>	終日オムツ対応は出来るだけせず、定期 的にトイレの声掛けをおこなっている。	トイレで排泄することを基本とし、オム ツ対応の方も朝はトイレで排泄し、日中 は紙パンツで過ごすようにしている。排 泄パターンを把握し、早めに誘導するこ とでオムツ外しやパットサイズを小さく できた事例もある。便秘対策として豆乳 やヤクルトを提供し、水分量も多めにと るように働きかけている。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲 食物の工夫や運動への働きかけ等， 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	排便確認や本人の希望を聞きながら対応 している。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように，職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に，個々に応じた入浴の支援をしてい る。</p>	入浴前に必ずご本人に納得していただく 声掛けを行い、週2回は入浴している。	1人30分間の入浴時間をもつことで職員 と会話を楽しみながら一人ひとりがゆっ くり入浴できるようにしている。またゆ ずやバラの花を湯に入れて楽しめる取り 組みも行っている。	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	声掛けを行い、休んでいただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	往診時は薬剤師にも参加していただき情報を得ている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	家事やぬりえ、歌や体操、季節の展示品の作成等、一人ひとりの無理の無い範囲で本人の力を活かし、気分転換をしていただけるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	今現在、コロナの為支援は行っていない。(通院、受診以外)	事業所内の行事は定期的に行っており、その際は2ユニットの間の戸を開放して2ユニット合同で行っている。隣接することも園の園児を見かけたり、利用者より「外に出たい、散歩したい」という声があればすぐに対応している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	以前は訪問販売で自分の好きなものを買ってもらっていたが、現在はコロナ禍で中止している。		

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>携帯電話を所持している方もおり、手紙なども自由にやり取りして頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>一日適時に換気を行い、毎朝掃除を行っている。季節の花や季節の物を入居者と一緒に作成し展示を行っている。季節感も感じ、共同で作成することで、居心地よく過ごして頂けるように工夫している。</p>	<p>共用の空間には利用者が作成した季節感のある作品を飾っている。作品にこだわりのある利用者にはその人の得意なことを役割として作成している。また一人用や複数用のテーブルや高さ調整できる机と椅子など利用者の状況に合わせて選定・調整している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブル席やソファ等、ご本人の好みのところへ自由に座って頂き、会話をしたり、テレビを観たり、趣味活動が出来る様に支援している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>タンスや衣類、居室内の椅子等、使い慣れた物や好みのものを使用して頂き、ご本人が居心地よく安心して過ごせるように工夫している。</p>	<p>利用開始前は管理者が自宅に行き、自宅の環境を確認している。利用開始時の持ち込みの制限はなく、使い慣れたものや好みのものを持参してもらおうようにしている。家族の意見を踏まえながら状況に合わせて介護ベッドや、ベッドで寝られないからと畳を利用する方もいてその都度対応している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すりやバリアフリー等の環境整備で、安全な環境作りを行っている。</p>		

V アウトカム項目(すずらん) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念に基づいて行動するように心がけている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	現在は、地域の方の手作りパンと野菜の販売を行い交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	入居者様のご家族に日々の状態を話している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	二カ月に一度、推進会議を行い、状況を報告している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市の担当者と情報の共有を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないよう心掛けている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会を行い、ストレスを溜めないように、声掛け等を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	施設全体で勉強会を開催し、いろいろな制度を取り組み学習できる内容で、取り組んでいます。今年に入りインフルエンザの関係で開催できておらず、連絡ノートを活用している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご家族の不安な事を聞いて、分かるように説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族に推進会議に出席していただき、意見を伺っている。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度、ミーティングを行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者によるヒアリングを通し、職員から個々に話を聞き、可能な限り環境、条件の整備に努めている。日々のコミュニケーションを欠くことなく努力している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修参加の声掛けを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	推進会議や施設内の勉強会を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	記録に残して、スタッフ間で情報共有している。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前に面談を行い、家族の心配事を聞いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	訪問看護を利用している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家事活動等、できる事はしてもらっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	コロナ以前は家族との面会や外出を行っていた。月1回、入居者様の状況を書いてご家族に送っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍で外出できないので、電話等に対応している。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	フロアごとの席の検討。居室へ閉じこもらないように、声掛けをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相談があれば必要時、対応している。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアマネージャーを中心として、ケースカンファレンスを行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	コロナで困難。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケースカンファレンスを行っている。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>日々の申し送り時やミーティングで話し合いを行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>2～3時間ごとの記録。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族様やご本人様より、サービスの変更や追加があれば、そのニーズに対応し、支援が行えるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ご本人様の意思を尊重し、職員はご本人様が、心身の力を発揮できるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>定期的受診や、月2回の主治医の往診の実施。</p>		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師にその都度相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ソーシャルワーカーと連携をとっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時、急変時の承諾書や看取りについて事前確認を行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	勉強会や応急手当の講習に参加している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防訓練の実施。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	『親しき仲にも礼儀あり』の言葉を意識し、入居者様一人一人に対し尊重し、又、身近な職員間にも同様に対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々のかかわりの中で、思いを傾聴している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の希望を優先したかかわりを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問美容を定期的に受けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の盛り付けや片付けなど利用者で行っている。行事食は利用者とともに作っている。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	摂取量が少ない人には、声掛けにて促し たり、数回に分けて摂取してもらって いる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	手直しをしたり、確認を行っている。歯 の状態によりブラシ等を使い分けてい る。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	行動を見たり、時間を見ながら声掛けし ている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘傾向な利用者には、訪問看護、主治 医に連絡し、指示をもらっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をして いる。	体調に応じて、身体の清潔を保てるよ う、声掛けしている。体調がすぐれない 時は清拭などで対応している。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	昼夜逆転にならないように、身体の状態により、臥床してもらう時もある。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	誤薬、飲み忘れ等、特に気を付けダブルチェックを行っている。症状が変わらない時は、訪問看護に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々に応じたレクリエーションをしてもらったり、興味を持ってもらえるよう、声掛けしたりしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	今現在、コロナの為支援は行っていない。(通院、受診以外)		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	今現在、コロナの為支援は行っていない。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者から要望があれば、ご家族に電話をかけ、話をさせていただくようにしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロア、廊下、居室などに飾り付けや利用者様と一緒に作った作品を壁に飾ったりしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席を時々変えたり、気の合う利用者と一緒にしたり、色々工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	各居室に、個人の使い慣れた物や家族の写真など、ご本人の過ごしやすい物を置いている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	利用者一人一人の出来る事を声掛けして、お手伝いして頂いている。		

V アウトカム項目(さくら) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 あやめが丘グループホーム

作成日 令和5年5月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議への参加人数が少ない参加、不参加の返答ももらえない。	GHを知って頂く。	まずは隣接のこども園の園長先生に参加の声を掛け6月より参加。手紙の案内と同時に電話も入れさせて頂く。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。